

## 1 プログラムの名称

久留米大学病院群外科専門研修プログラム

## 2 研修期間

3年間

※サブスペシャルティ領域と並行可能

## 3 募集要項

募集人員： 22名

募集期間： 1次 > 久留米大学病院  
2次 > 外科専門研修プログラムに準ずる。

応募資格： 医師免許を有している者

臨床研修を修了している者、または修了見込みの者

応募方法： プログラム応募申請書(1部)

履歴書(2部)

※まずは担当者へお問合せください。

## 4 診療部長・指導医数

診療部長：唐 宇飛

指導医数 130名(久留米大学病院群全体の指導医数)

## 5 主な連携施設

(福岡県) 聖マリア病院、九州医療センター、大牟田市立病院、朝倉医師会病院、筑後市立病院、飯塚市立病院、共愛会戸畑共立病院、済生会二日市病院、宗像水光会総合病院、ヨコクラ病院、柳病院、嶋田病院、柳川病院、済生会大牟田病院、公立八女総合病院、社会保険田川病院、久留米総合病院、くるめ病院、高木病院、福岡記念病院

(佐賀県) 佐賀中部病院

(長崎県) 佐世保共済病院、市立大村市民病院、

(大分県) 済生会日田病院、三愛メディカルセンター

(鹿児島) 天陽会中央病院

(新潟県) 新潟県立中央病院、新潟市民病院、長岡赤十字病院

(山形県) 鶴岡市内荘内病院

## 6 プログラムの特色

乳腺外科では外科専門医修得までの研修の一部を担う部署として、2年間の初期研修終了後にさらに乳腺専門医修得を希望する場合には放射線科、病理部などとの協力のもとに、日本乳癌学会の乳腺専門カリキュラムに沿った形で研修できる部署となっております。当科では、検診、診断、手術、術前後や再発時における薬物療法、緩和治療に深い理解と技能を持ち、患者の痛みや家族の立場を思いやることをでき、積極的に社会貢献をできる医師の育成を目標としております。

臨床的には、入局後は外科医としての基本知識や技術を身につけ、外科専門医を修得すると同時に乳腺外科としても専門的に学び、日本乳癌学会認定医・専門医の修得が可能です。それを実現するための研修環境はすでに完成されており、大学病院とその関連病院を含めた症例数は地域で最も豊富で、乳癌学会専門医を取得するために必要な症例数(100例以上)を短期間で到達することが可能です。

さらに、大学病院としての特徴を活かし、臨床診療に役立つ基礎的研究、臨床試験などの臨床研究に参加可能です。その成果を国内外において各種関連学会や研究会への参加・発表を積極的に促すことにより、臨床的に乳癌学会専門医資格を取得すると同時に、乳がん医療の発展のために臨床研究の心を持つバランスを取れた医師を育てることを目指します。

## 7 診療部長から一言

乳癌診療は固形がんの中で最もevidence based medicineを確立されたがん診療の分野の一つであり、やればやるほどその奥深さを実感できます。若手医師には、乳腺疾患の診断から治療まで幅広い医療技術が修練すると共に、ベテラン医師や看護師などの医療スタッフと共に患者さんの心のケアやチーム医療に参加することを通じ、真の実力を伴う熱意のある乳腺専門医になっていただきたいと思っております。

## 8 連絡先・担当者

久留米大学医学部外科学講座

<http://www.kurume-geka.com/>

〒830-0011 久留米市旭町67

TEL:0942-31-7566 FAX:0942-34-0709

担当者：医局長 森 直樹

## 9 研修プログラムのURL

日本外科学会

<https://www.jssoc.or.jp/>

